

◆ 阿部 憲孝(あべ のりたか) ◆

<p>専門分野</p>	<p>有機化学、複素環化学、非ベンゼン系芳香族化学</p> <p>有機合成化学を行ってきました。特に、含窒素5員7員双環化合物のアザアズレンという化合物の合成と反応を中心に研究しています。新規な縮合複素環化合物を合成し、有用な物質を作り出すことをめざしてきました。</p>
<p>所属学会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本化学会 ■ アメリカ化学会 ■ 高分子学会 ■ 有機合成化学協会 ■ 国際複素環化学会 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日本時間学会
<p>主な著作論文など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「トロポノイド化学」 齋藤勝裕 監修、阿部憲孝、山邊信一、湊敏、森田昇、森章、久保勘二、齋藤勝裕、熊谷勉、伊東俊司、山下敬郎、河村保彦 共著、「第1章 トロポノイド化学の概観と展望」 pp. 3-48、(株)アイシーピー、2008. ■ The Chemistry of Azaazulenes. Noritaka Abe and Takahiro Gunji, <i>Heterocycles</i>, 82(1), 201-248 (2010). ■ Recent Progress in the Chemistry of Azaazulenes. Noritaka Abe, <i>Recent Research Developments in Organic & Bioorganic Chemistry</i>, 4, 17-48 (2001), Transworld Research Network, Trivandrum. ■ Reactions of Diethyl Azulene-1,3-dicarboxylate Derivatives and 1-Azaazulene Derivatives with Grignard Reagents, and Alkyl- and Aryllithium. Tadayoshi Morita, Noritaka Abe, and Kahei Takase, <i>J. Chem. Soc., Perkin Trans. 1</i>, (18), 3063—3070 (2000). ■ Cycloaddition of 8-Styrylcyclohepta[<i>b</i>]pyrroles with Dimethyl Acetylenedicarboxylate. Noritaka Abe and Tarozaemon Nishiwaki, <i>J. Chem. Soc., Chem. Commun.</i>, 476-477 (1979). ■ Reactions of 7<i>H</i>-Naphth[3,2,1-<i>cd</i>]azulenes. Noritaka Abe, Hiroyuki Fujii, Kahei Takase, and Tadayoshi Morita, <i>J. Chem. Soc., Perkin Trans. 1</i>, (12), 1359—1365 (2001). ■ Synthesis of Benzotropone-annulated 1-Azaazulenes and Related Compounds by Suzuki-Miyaura Coupling/Aldol Condensation Cascaded Reaction and Evaluations of Their Cytotoxic Activity Against Hela S3 Cells. Makoto Nakatani, Hiroyuki Fujii, Toshihiro Murafuji, Takahiro Gunji, Reiko Ikeda, takeo Konakahara, and Noritaka Abe, <i>Heterocycles</i>, 84(1), 461-472 (2012).
<p>主要略歴</p>	<p>昭和44年 3月 東北大学理学部 卒業</p> <p>昭和49年 3月 東北大学大学院理学研究科博士課程 修了 理学博士</p> <p>昭和49年11月 山口大学文理学部 助手</p> <p>昭和53年10月 山口大学理学部 講師</p> <p>平成57年 9月 山口大学理学部 助教授</p> <p>平成 9年 4月 山口大学理学部 教授</p> <p>平成17年 4月 山口大学理学部副学部長</p> <p>平成18年 4月 山口大学大学院教授 大学院医学系研究科</p>

	平成19年 4月 山口大学総合科学実験センター長、副学長補佐（企画広報担当）
	平成20年 5月 山口大学副学長（学術情報担当）、大学情報機構長、山口大学図書館長
	平成22年 3月 山口大学医学系研究科定年退職
	平成22年 4月 山口大学名誉教授
	平成22年 4月 東京理科大学理工学部教授
	平成24年 3月 東京理科大学理工学部定年退職
	平成24年 4月 東京理科大学理工学部嘱託教授
主要公的活動	日本化学会中国四国支部・監査 有機合成化学協会九州山口支部・評議員
趣味、好きな言葉など	他人の目や評価ばかりを意識するのではなく、物事を継続して行い、成し遂げることが大切。きちんと仕事をなし終えたときに、ひとは見ている。
学生の皆さんへ一言	学問であれ、仕事であれ、新しいことは先人の積み重ねの上に成り立っていることがほとんどです。歴史に学ぶことも大切です。秋田県の「老農」と言われた石川理紀之助翁が、「井戸を掘るなら、水が湧くまで掘れ」「何よりも得難いものは信頼だ。信頼は包み隠さず教えあうことから生まれる。進歩とは、厚い信頼でできた巣の中ですくすく育つのだ」という言葉を残しています。目的をもって事を起こし、粘り強く結果を出すまで努力する。信頼しあい、協力して事を行う、共に学ぶ、教えあう。これらのことは、必要と思いがながら、なかなかできません。折角、学ぶために入学したのです。信頼と協力しながら、大切なことは何なのか、共に学びましょう。